

科目名	物理療法学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕							
物理療法学は、運動療法と並び理学療法士の重要な治療手段である。この授業では、物理療法の種類、効果やその生理学的背景を中心に講義をする。							
〔授業全体の内容の概要〕							
物理療法を実施するために必要な手順、リスク管理、機器の操作方法、各種物理療法の種類とその生理学的背景を知ることができる。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①各種物理療法の種類を理解する。②疼痛の起こる機序について、その生理学的・病理学的背景を理解する。③各種物理療法の適応と禁忌、リスク管理を理解する。							
回数	講義内容						
1	物理療法の定義、効果や種類に関するオリエンテーション						
2	温熱療法総論						
3	寒冷療法総論						
4	水治療法、超音波療法総論						
5	電気刺激療法総論						
6	電磁波療法、レーザー療法総論						
7	光線療法総論						
8	脊椎牽引、マッサージ療法、CPM、バイオフィードバック療法総論						
	定期筆記試験						

## 【 準備学習・時間外学習 】

--

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
理学療法テキスト 物理療法学・実習（15レクチャーシリーズ）	石川 朗	中山書店

## 【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験により評価する。
--------------